

玉野圏版

23日、荘内「うまれる」上映会

ドキュメンタリー映画「うまれる」(2010年製作、豪田トモ監督)の自主上映会が23日、荘内市民センターで開かれる。命の大切さ、家族の絆がテーマ。有志の上映委員会が準備を進めており、「重いテーマだが、前向きで明るい展開。見終わった時に温かい気持ちになる。感動を多くの人と共有したい」としている。(岡本遥加)

映画は、両親の不仲や虐待の経験から親になることに戸惑う▽染色体疾患の18トリソミーの子どもを育てる▽出産予定日におなかの子をくしくした▽不妊治療の末、子を授からな



「うまれる」の自主上映会を準備する古野さん

いろんな家族の形



い人生を受け入れた」という実在する4組の夫婦を追う。自主上映会を企画したのは、市内の訪問看護ステーションに勤める作業療法士古野剛さん(47)⇓倉敷市児島小川。4年ほど前、次女が小学校でちらしをもらい、親子で鑑賞。今年映画のウェブサイトを見て、開催を思い立った。職場の同僚や周辺の医院、薬局な

映画「うまれる」の自主上映会に向け準備する上映委員会の古野さん(手前左)ら

電子版なら他の地域版も読める
山陽新聞デジタル
<http://www.sanyonews.jp>

有志が準備 命の大切さ、絆テーマ

どに協力を求め、玉野「うまれる」上映委員会を2月に結成。日程調整、会場探し、ポスター作りをしてきた。荘内地区の学校などにちらし、店舗にポスターを配布した。

4日、メンバー4人が集まり、役割分担などを確認した。二宮崇さん(41)⇓築港は「子育てをしている人や、出産を控えている人にとっては特に考えさせられる内容では」。坂本晴貴さん(24)⇓倉敷市茶屋町は「いろんな家族の形があるということを感じる」と話す。

上映は午前10時(ママさんたいむ)からと午後1時半から。ママさんたいむでは「子どもの泣き声はBGM」として、気にせず見られる。授乳、おむつ交換のできるベビールームでも同時に上映する。

事前予約すれば一般800円、小中高生500円。当日はいずれも千円。6歳以下は無料。各回とも定員200人(申し込み先着)。20日まで事務局(訪問看護ステーション ママック内)がファクス(☎5008)かメール(mareru.tamano@gmail.com)で受け付ける。問い合わせは古野さん(060-22606-2167)。

身近なニュース、会合、催しなど、お知らせください。

玉野支社
玉野市宇野
1-12-20
TEL:0863-31-3434